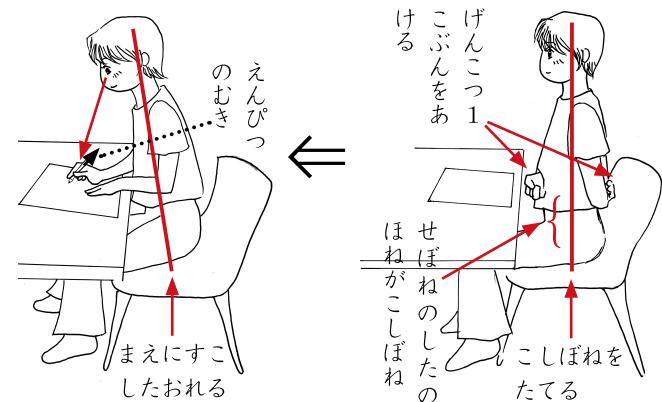


## 硬筆指定課題 評価の観点 ≪年少・年中≫

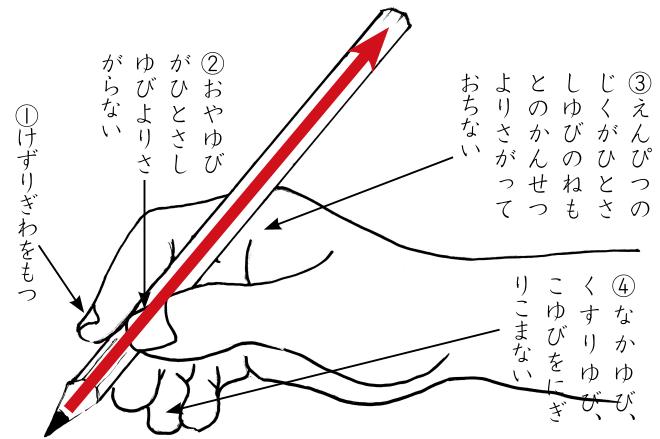
大平憲理 書

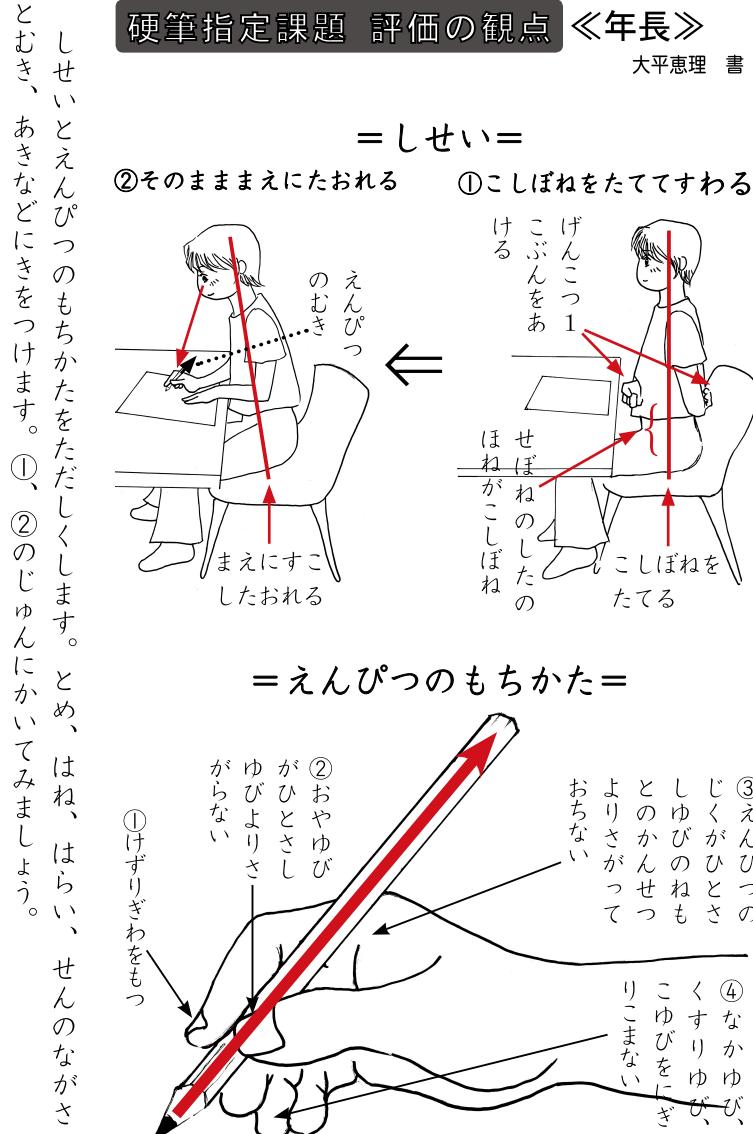
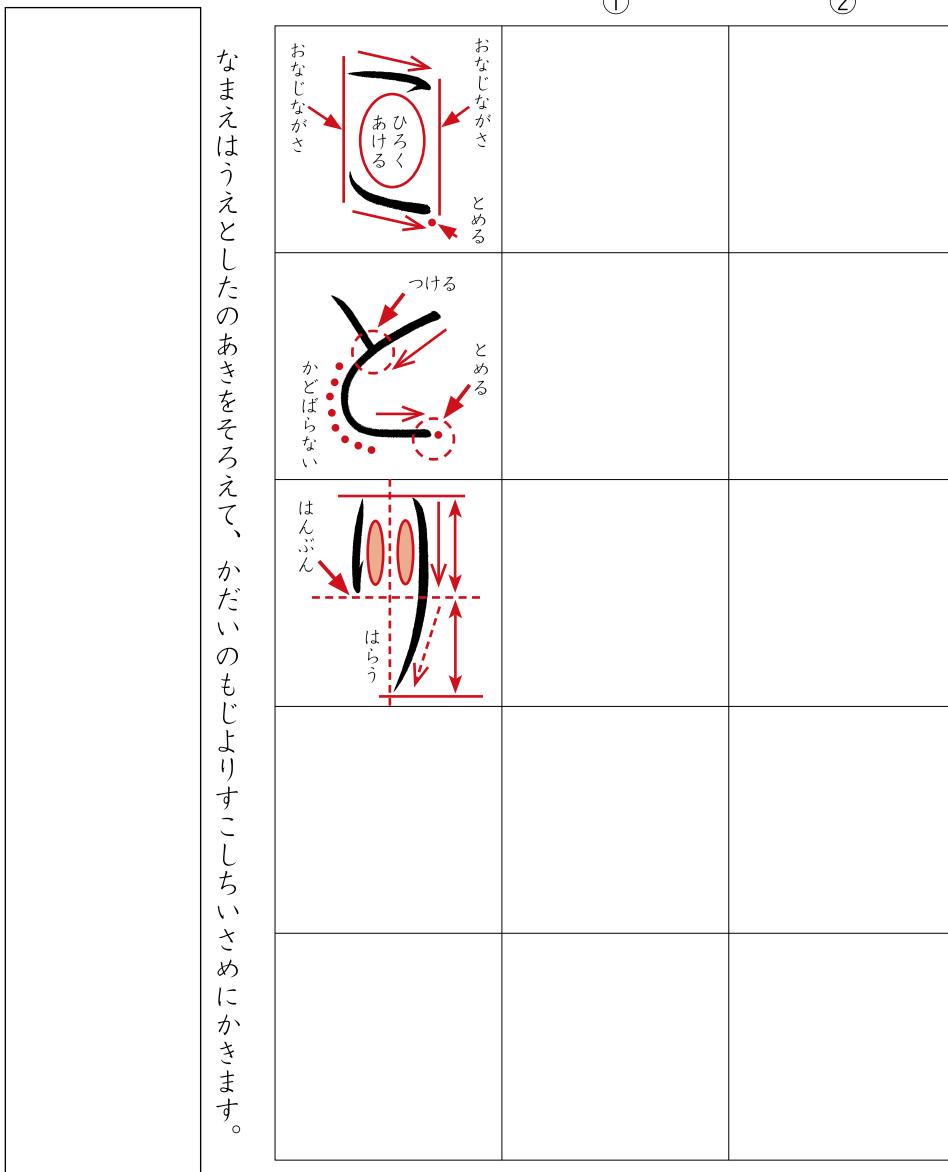
### = せい =

②そのまままえにたおれる ①こしばねをたててすわる



### = えんぴつのもちかた =



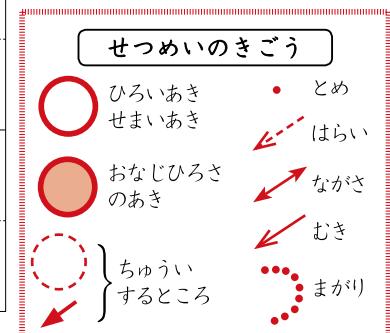
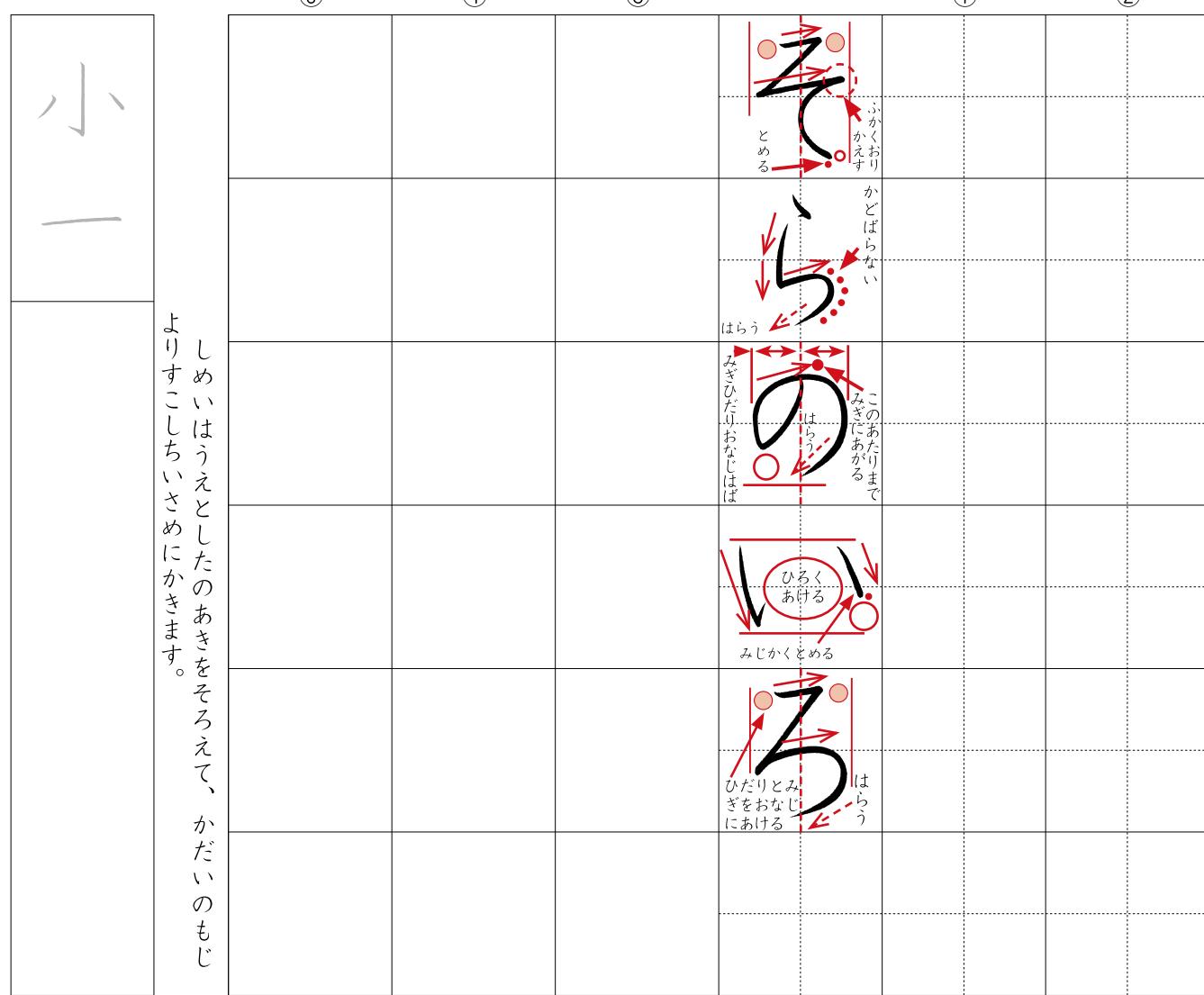


硬筆指定課題 評価の観点

《小1》 大平恵理書

はじめに、しせいとえんぴつのもちかたをたしかめます。正しくかけているか、とのつてかけているか、がたいせつです。「とめ・はね・はらい、せんのながさとのむき、あき、せおれ、おりかえし、まがり、そり、せんとせんのつきかたとまじわりかた、ひつじゅん」にきをつけてかきましょう。

てほんのもじをみながら、右のマスにかいてみましょう。

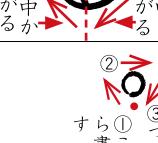
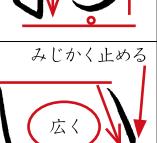
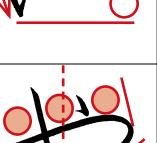
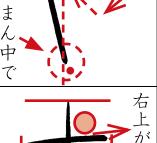
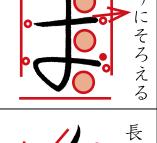


## 硬筆指定課題 評価の観点

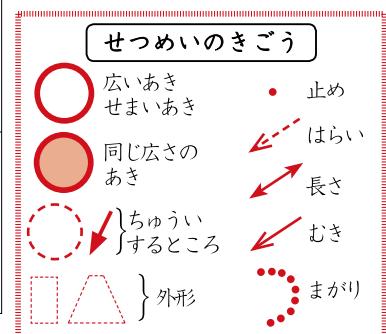
《小2》 大平恵理書

はじめに、しせいとえんぴつのもち方をたしかめます。正しく書けているか、とのつて書けているか、がたいせつです。「止め・はね・はらい、せんの長さとむき、あき、おれ、おりかえし、まがり、そり、せんとせんのつき方と交わり方、ひつじゅん、外形」にきをつけて書きましょう。

てほんの文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。

小 二				
				
				
				
				
	※次のむすび方でも よい。「ま」			

※「外形」とは、だいたいの形のことです。



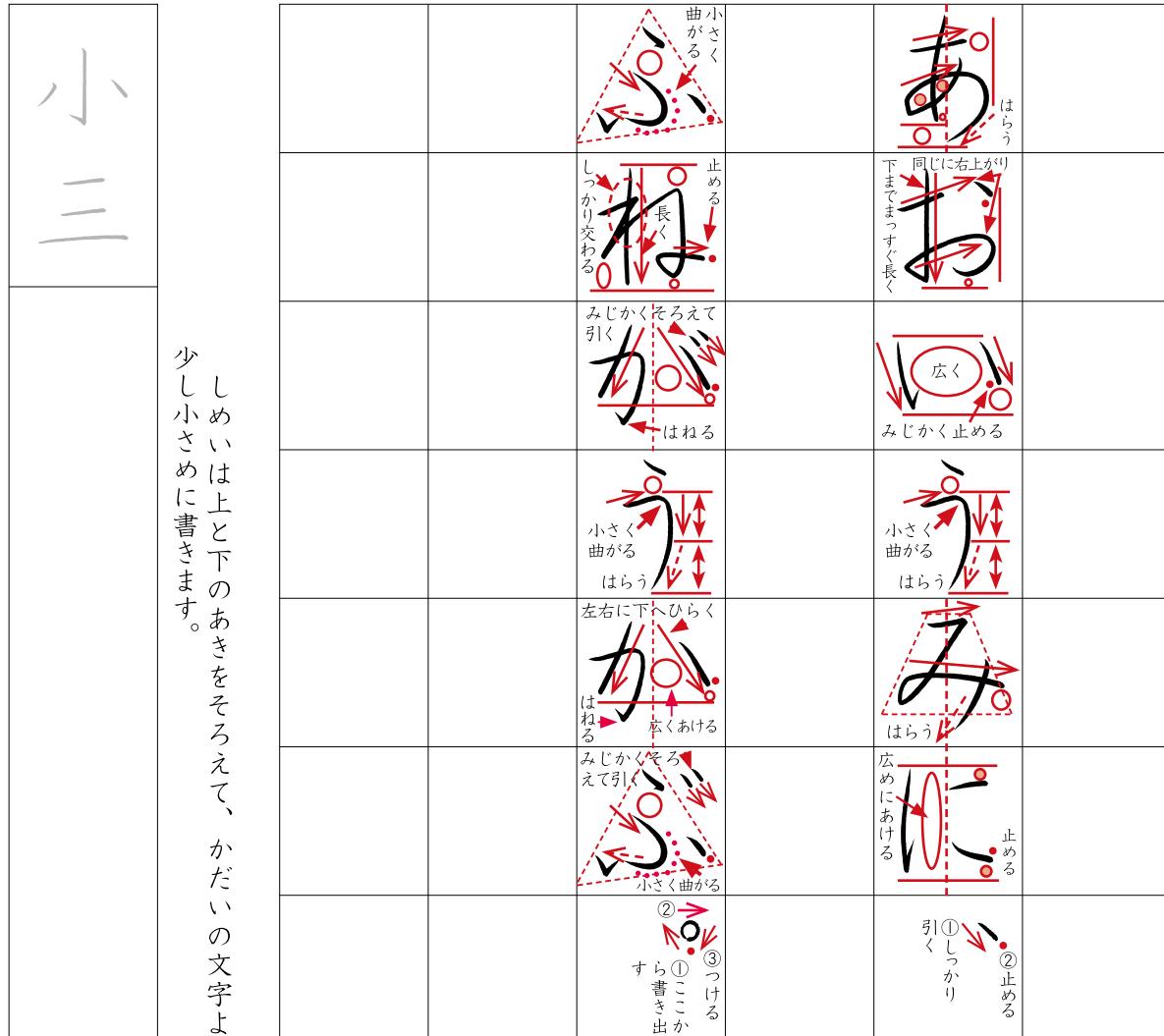
## 硬筆指定課題 評価の観点

《小3》 大平恵理書

はじめに、しせいとえんぴつの持ち方をたしかめます。

正しく整つて書けているか、が大切です。「止め・はね・はらい、せんの長さとむき、あき、おれ、おりかえし、曲がり、そり、せんとせんのつき方と交わり方、一字一字の組み立て方、筆順、筆圧」に気をつけ書きましょう。

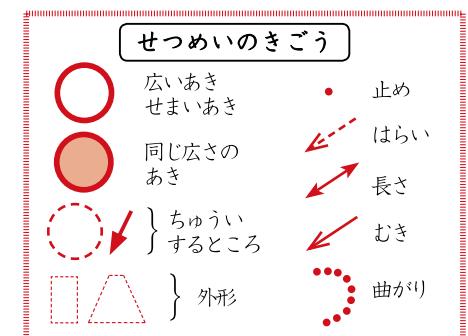
手本の文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。



しめいは上と下のあきをそろえて、かだいの文字より少し小さめに書きます。

小  
三

※次のむすび方でもよい。「ね」



※「筆圧」とは、えんぴつの先から紙に伝わる力のこと、また、「外形」とは、だいたいの形のことです。